

市川市立第二中学校校長 齋藤純  
（右）  
「鳥のさえずる  
緑豊かな」皆さ  
んの母校に勤務  
しまして一年近  
くが過ぎようと  
しています。木々の緑が青々とし  
て、葉が黄色や赤色へと、季節の移り変わ  
りを感じられる素晴らしい環境に  
感激しております。  
二中同窓会との出会いは、引継  
ぎで本校に参りました時に、寺崎  
会長先生にお会いした時からです。  
このような同窓会活動を続けてい  
き、更に充実させていく頂きた  
いと思います。

現在の学校の様子をお話します  
と、どの生徒も「あいさつ」が自  
然についており、来校者の方  
からお褒めの言葉を頂いていま  
す。



校長室にて(右から斎藤校長、桑村氏、寺崎会長)

## 平成19年度・二中同窓会総会

日時：平成19年6月24日(日) 14:00～17:00

場所：市川二中 体育館

内容：1) 議案審議 平成18年度活動・決算報告  
平成19年度活動・予算承認  
その他

2) 講演「お香と線香の薫り」  
株式会社「詩仙香房」  
丸岡 乙彦氏(14期生)  
3) 歓談 —福引など— (茶菓を囲んで)  
4) 吹奏楽演奏 市川二中吹奏楽部

会費：社会人 1,000円 学生 500円

出欠を5月31日(木)までに同封ハガキにて  
以下を確認の上、ご連絡下さい

- ①欠席の場合も、必ず返信して下さい
- ②会報を郵送した封筒に記載されている会員番号を返信ハガキ  
に転記して下さい
- ③返信ハガキに50円切手を貼って投函して下さい

よき伝統を受け継いで

市川市立第二中学校校長 齋藤純  
（右）

市川市立第二中学校 同窓会会報

第10号 平成19年3月31日発行

市川市立第二中学校 同窓会事務局  
〒272-0825 市川市瀬和田2-34-1  
市川市立第二中学校内  
一受付は郵便物のみ  
編集 広報委員会

# 市川市立第二中学校同窓会 会報 第十号

## ◆ 中国との草の根の交流 ◆

桑村 益夫 (前会長・1期)

「爺爺不像(イエイエ・ブッシャン=お爺ちゃんはそうじやないみたいね)」。2003年、中国浙江省湖州市のホテルでのクリスマスイブ、他愛の無い会話を交わした小学校1～2年の可愛らしい少女が、学校では日本人は中国を侵略し、「日本鬼子」と恐れられた民族と教えられたのにと思い、発した一言です。私は少女の言葉に安堵すると同時に、お互いに直に接して理解しあうことの大切さを痛感し、若い世代の交流を図りたいと考え、2004年11月退職・帰国に際し、湖州市の関係者経由で「市川二中五十年史」を湖州市立第十二中学の胡曉華校長に届けました。暫くして胡校長から「交流の提案を歓迎する」との丁重な手紙を受け取り、同窓会理事会の了承を得て、当時の寺崎校長にお届けし、ご検討をお願いしました。具体的な進展が無いまま昨年10月になり、斎藤校長の格別のご支援により、斎藤校長から胡校長への「市川二中としても交流を歓迎する」旨の手紙と生徒の絵画等の作品を、胡校長に届けることができました。私は昨年12月、日本芸術院賞を受賞した14期生栗生明氏の建築作品集を携え、湖州十二中を訪問しました。湖州十二中は106年の歴史を誇る名門校で、立派なキャンパスの一角に、同校と市川二中の生徒の作品が「文化交流」のタイトルの下に展示されており、胡校長や全校生徒の心温まる歓迎を受け、とても中学生の作品とは信じられない素晴らしい書や絵画を持ち帰り、斎藤校長にお届けすることができました。

交流はやっと両校の初步的なエールの交換ができた段階です。今後、同窓会、学校、市当局のご支援を仰ぎ、草の根の交流を更に前進させたいと願っておりますので、宜しくお願い申し上げます。











